

JCAABE リレートーク

【JCAABE リレートークのお知らせ】

JCAABE 会員の活動内容紹介のリレートークを企画しました。トークしていただいた会員から、次のトーク者をご紹介頂くという形で、順にリレーしていきます。1時間の中で、40分のトーク、20分の質疑応答タイムとして会員の皆さんと活発なディスカッションができればと思います。

■紹介文：今回は徳島を中心に活躍されている内野輝明さんです。内野さんの建築は、地域の気候風土や自然素材を生かした、心地よい空間づくりを特徴とされています。特に東日本大震災以降は、防災と木造建築を結び付けた研究にも力を注ぎ、柱材のみで構成する「重ね梁構法」を発展させました。この技術は徳島県の応急仮設住宅にも採用され、木材の備蓄と災害対応を両立する新しい木造建築の考え方として注目されています。今回は、地域における建築家の職能のあり方についてお話を頂けるとと思います。（紹介者：伊良波朝義）

第12回 2026年9月3日（木）19：00～20：00

ZOOM

<https://us02web.zoom.us/j/89506536201?pwd=daLKmd5Klcbj7pGOOrbmcyjV6RZPQhn.1>

ミーティング ID: 895 0653 6201

パスコード: 895140



徳島の建築家にできること

プレゼンター：内野輝明 （有）内野設計 代表取締役

1963 徳島県徳島市生まれ
1986 大阪工業大学建築学科 卒業
1986 山本西原建築設計事務所
1990 海外視察
1992 高崎正治都市建築設計事務所
1999 独立



3.11以降、仮設住宅や先行高地移転に見立てた、試行的なプロジェクトに取り組む機会が続きました。南海トラフが防災したら、すぐには十分な支援が届かない、重機すらなかなか来ないであろう例えば徳島県南の漁村集落で、必要な建築を建てるには？道具箱さえあれば人力で建てられるように、軽い柱材だけでできる構法をみんなで考えました。単一部材でどんな建築でも建つなら、「木材備蓄」が可能になるのでは？「林業振興」と「事前復興」を同時にすすめる「ローリングストック」が、小さくですが始まっています。木材流通から考える中規模木造建築の設計にもかかわらせて頂きました。「山と相談する木造建築」が「山と人を守る」。大袈裟ですが、そんな話をさせていただきます。



先行高地移転試行



木材のローリングストック